



報告書

U.C.0097

『UC計画』にまつわる
モビルスーツ及び関連勢力の現状について

ANAHEIM ELECTRONICS
LUNO & Co.

作成者:



創刊号・サンパイズ



CAUTION!

この報告書に記載されている内容は、アナハイム・エレクトロニクス社の幹部であるマーサ・ビスト・カーバインが所有していたデータ、及び聞き取り調査を経て、調査・報告書として文書でまとめられたものである。報告書の主眼は現在、行方不明となっている“フェネクス”の鹵獲を効率的に進めるためのデータ共有であるが、対フェネクス戦に用意された機体についても報告する。秘密保持のため、デジタル機器や情報端末へのデータ移行、またクラウドネットワークへの接続・保管等は控えることとする。

ANAHEIM ELECTRONICS / LUIO & Co.

報告内容

※『UC計画』にまつわるモビルスーツについて※

1. ユニコーンガンダム1号機について(及びフルアーマー・ユニコーンガンダムについて)
2. ユニコーンガンダム2号機“バンシイ”について(及び、バンシイ・ノルンについて)
- 3-A. ユニコーンガンダム3号機“フェネクス”について
- 3-B. “フェネクス”の搜索及び鹵獲のためのモビルスーツについて

※『ラプラス事変』後の各勢力についての状況※

1. ビスト財団 -THE VIST FOUNDATION-
2. 『袖付き』-NEO ZEON(THE SLEEVES)-
3. 地球連邦政府 -EARTH FEDERATION GOVERNMENT-
4. アナハイム・エレクトロニクス社 / ルオ商会 -ANAHEIM ELECTRONICS / LUIO & Co.-

※特記事項※

1. 危険分子及び監視対象について
(ミネバ・ラオ・ザビ / ブライト・ノア / マーサ・ビスト・カーバイン、アルベルト・ビスト)

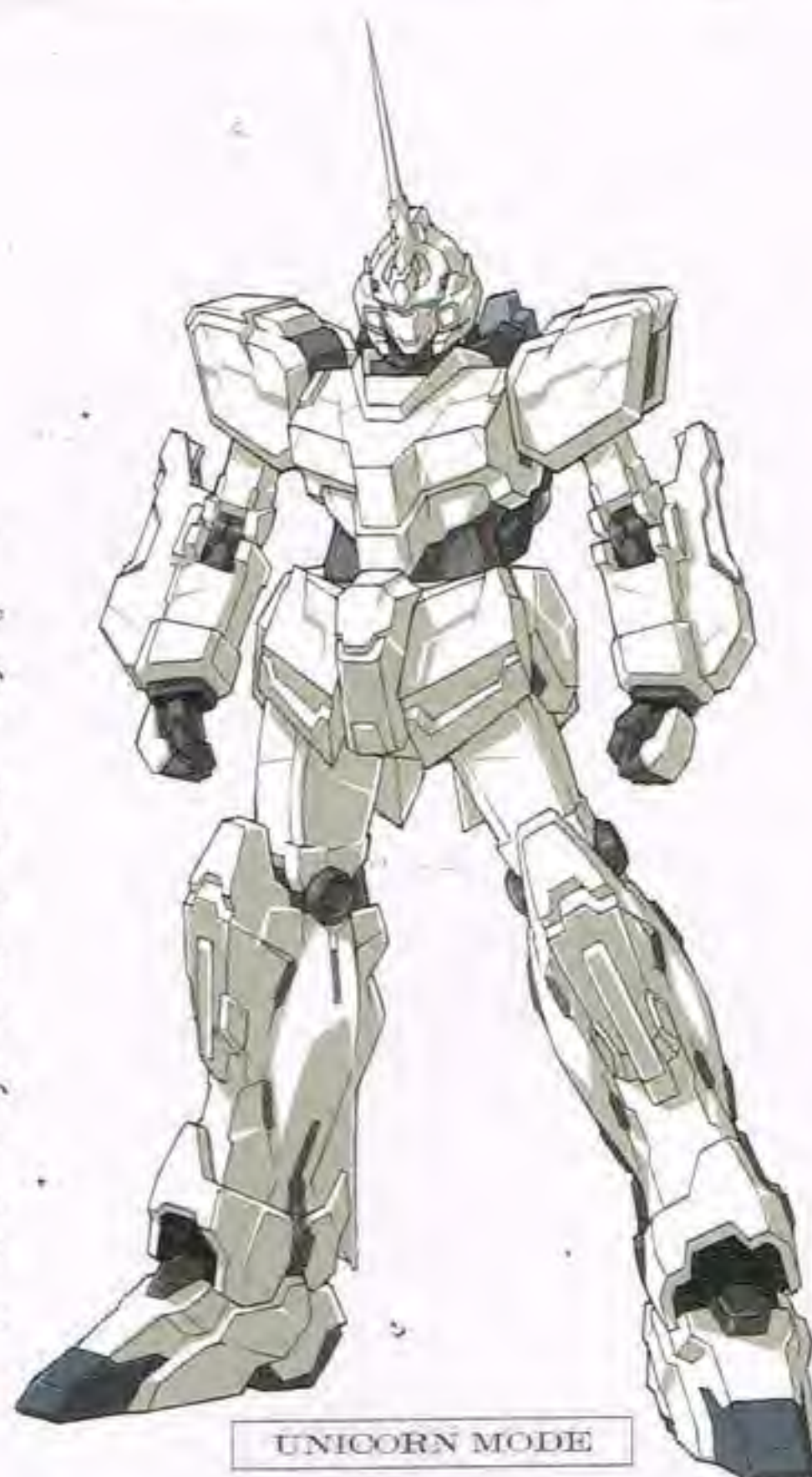


DATA

頭頂高	19.7m(ユニコーンモード)
	21.7m(デストロイモード)
本体重量	23.7t
全備重量	42.7t
ジェネレーター出力	3,480kW(ユニコーンモード)
スラスター総推力	142,600kg(ユニコーンモード)
武装	60mmバルカン砲、ビーム・マグナム、 ハイパー・バズーカ、ビーム・サーベル (ビーム・トンファー)、シールド他

機体概要 Description of MOBILE SUIT

『UC計画』は、かつてジオン公国が提唱した「ニュータイプ神話」を崩壊させるべく立案・実行されたものであった。その理念を兵器面で体現するフラグシップモデルであり、敵ニュータイプ(及び強化人間)を発見すると発動するデストロイモードを有したのがRX-0 ユニコーンガンダムである。フル・サイコフレーム機であり、搭載する「NT-D」を発動すると、ユニコーンモードからデストロイモードへと変身するのが特徴である。だが、本1号機は、ビスト財団当主カーディアス・ビストにより、『ラプラスの箱』の開放を促す鍵として用いられた。これはAE社にとっても想定外であり、さらにパイロットがバナージ・リンクスと呼ばれる少年——おそらくニュータイプと見られる——が乗り込んだことも我々にとっては誤算であった。最終的に『箱』の開放を許してしまう結果となったが、情勢があまり変わらなかったことは不幸中の幸いと言えるだろう。



UNICORN MODE



DESTROY MODE

報告1

RX-0 ユニコーンガンダム1号機

RX-0 Unicorn Gundam

パイロット Pilot

バナージ・リンクスはアナハイム・エレクトロニクス工業専門学校の学生であったが、〈インダストリアル7〉の戦いで導かれるようにユニコーンガンダムに接近し、瀕死状態にあったカーディアスの後押しを受けてパイロットとして登録されたようだ。ユニコーンガンダムはネェル・アーガマを拠点としていたが、最終的にミネバ・ラオ・ザビと手を組み、『箱』の開放に動いた。ネオ・ジオングとの戦闘後、バナージは行方不明となっている。



Banagher Links

バナージ・リンクス

ネオ・ジオングとの戦闘中、ニュータイプとして覚醒したとの情報もあるが、詳細は不明である。

運用実績 The operation of Unicorn Gundam

ユニコーンガンダム1号機は、搭載された「NT-D(ニュータイプ・デストロイヤー)」システムの発動により、マリーダ・クルス、ロニ・ガーベイといった強化人間及びニュータイプ
の攻撃に力を発揮した。デストロイモードの能力は、ユニ
コーンモードのスペックを遥かに凌ぐ出力・推力を発揮し、
反応速度も向上。一方で、ラプラス・プログラムの搭載に
より『ラプラスの箱』を指し示す鍵ともなり、〈インダストリアル7〉に保管されていた『箱』へパイロットを導いた。



フルアーマー・ユニコーンガンダム

RX-0 Full Armor Unicorn Gundam

ユニコーンガンダムは、母艦であるネェル・アーガマにて現地改修が図られた。バナーズの友人タクヤ・イレ
イが強化プランを発案、AE社の技術者アーロン・テルジェフが実際の調整を担ったのがフルアーマー・ユ
ニコーンガンダムである。過剰とも言える火器搭載と、94式ベース・ジャバーのスラスターを転用した大型
ブースターユニットは、本体の持つ拡張性を実証したと言えるだろう。



想定外の能力

ユニコーンガンダム1号機は、サイコフレームが赤く発光するのが通常である。だが、バナーズの覚醒と連動
し、緑色に光る現象が確認されている。この際の能力はデストロイモードよりもさらに向上し、敵サイコミュ
兵器のコントロールを奪うサイコミュ・ジャックや、現在の技術では解明できない能力まで発揮したとされる。
混乱を避けるため、ユニコーンガンダム1号機と2号機は、封印の処置を取っている。



DATA (バンシイ)

頭頂高	19.7m(ユニコーンモード)
	21.7m(デストロイモード)
本体重量	24.0t
全備重量	46.7t
ジェネレーター出力	3,480kW(ユニコーンモード)
スラスター総推力	142,600kg(ユニコーンモード)
武装	60mmバルカン砲、ビーム・サーベル(ビーム・トンファー)、アームド・アーマーBS、アームド・アーマーVN

DATA (バンシイ・ノルン)

頭頂高	19.7m(ユニコーンモード)
	21.7m(デストロイモード)
本体重量	27.3t
全備重量	48.8t
ジェネレーター出力	4,520kW(ユニコーンモード)
スラスター総推力	185,380kg
武装	60mmバルカン砲、ビーム・サーベル(ビーム・トンファー)、ビーム・マグナム(リボルビング・ランチャー)、シールド、アームド・アーマーDE、アームド・アーマーXC 他



機体概要

Description of
MOBILE SUIT

ユニコーンガンダムはAE社が複数試作しており、2号機のバンシイもその1機である。NT-Dシステムやフル・サイコフレーム構造は同様だが、本体部分ではカラーリング、サイコフレームの発光色、頭部形状などに違いがある。また、バンシイ専用の武装としてアームド・アーマーBS、アームド・アーマーVNを用意したほか、1号機の運用データがフィードバックされている。これにより、大気圏での機動性能においては理論上、本機が上である(ビスト財団が追加で搭載したラプラス・プログラムは、もちろん本機には内蔵されていない)。オーガスタ研究所で重力下での運用試験を行ったのち、マリーダ・クルスの乗機とされた。

バンシイ・ノルンは、本体の拡張性を活かして装備の換装を行った強化改修機。アームド・アーマーDE、アームド・アーマーXCへの装備替えにより、非ニュータイプ、非強化人間でも「NT-D」を含む本機的能力を発揮できる仕様である。



UNICORN MODE



DESTROY MODE

報告2

RX-0 ユニコーンガンダム2号機 バンシイ

RX-0 Unicorn Gundam 02 Banshee

RX-0[N] ユニコーンガンダム2号機 バンシイ・ノルン

RX-0 Unicorn Gundam 02 Banshee Norn

パイロット

Pilot

マーサが運用を指示したバンシイには、『袖付き』で活動していた強化人間で、「ブルトウエルブ」とマリーダに再調整を施し、パイロットとしている。バンシイ・ノルンに改修されてからは、ネェル・アーガマと1号機を追撃するべく宇宙での運用を想定。パイロットは、マリーダから地球連邦軍の所属であるリディへと交代された。



Riddhe Marcenas

リディ・マーセナス(バンシイ・ノルン)

地球連邦軍に所属するモビルスーツパイロット。地球連邦政府初代首相リカルド・マーセナスの子孫であり、最終決戦後の所在は不明。

Marida Cruz

マリーダ・クルス(バンシイ)

『袖付き』で活動していたマリーダは、元々ネオ・ジオンが秘密裏に戦力として整えていた「ブルシリーズ」の生き残りである。



運用実績 The operation of Banshee

ビスト財団が独自に運用を開始したユニコーンガンダム1号機の破壊、鹵獲を目的として、マーサがバンシイの運用を指示。『袖付き』から身柄を拘束したマリダへの再調整をマーサ自らが指揮し、彼女をパイロットに仕立て上げた。リディが乗るデルタプラスの破壊に成功するなど一定の成果は挙げたものの、バナージ・リンクスが乗る1号機を破壊するまでには至らなかった。その後、バンシイ・ノルンへと改修が進められた。



運用実績 The operation of Banshee Norn

バンシイ・ノルンへと改修されてからはリディがパイロットとなり、バナージが運用するフルアーマー・ユニコーンガンダムと戦闘を繰り広げた。この戦闘時、介入してきたクシャトリヤ・リベアード(マリダが搭乗)を撃破する成果を挙げた。だが、リディが乗るバンシイ・ノルンは右脚部を損失する大きな打撃を受けた。さらに、リディはバナージとの共闘を選択し、〈メガラニカ〉に向けて放たれたコロニーレーザーの阻止に動いている。



想定外の能力

リディが乗るバンシイ・ノルンも、1号機に呼応するように、サイコミュ・ジャックやサイコ・フィールドの展開といった予期せぬ現象が発現したと推測される。想定外であるが、非ニュータイプとされていたリディによってNT-Dを含む機体の性能を最大限に発揮する——バンシイ・ノルンの改修コンセプトとしては間違いではなく、この現象をもってその能力が実証されたと言えるだろう(※)。

※非ニュータイプと見られていたリディはニュータイプへと覚醒し、特殊な能力が発動されたとの情報もある。





運用実績

The operation of
Phenex

地球連邦軍の少尉リタ・ベルナルをパイロットとして運用されたユニコーンガンダム3号機のフェネクスは、性能評価トライアルとして、模擬戦闘訓練を実施。この戦闘時にフェネクスはNT-Dを発動したが、その際に制御不可能な暴走状態へと突入。試験評価員を乗せたアイリッシュ級戦艦エシャロットに攻撃を加えた

のち、戦闘空域から離脱してしまう。その後、パイロットであるリタも含めて機体は行方不明となった。地球連邦軍をはじめ、テストに同席していたAE社もその行方を追っている。いくつか目撃情報はあるものの、U.C.0096の『ラプラス事変』時にも鹵獲には至らなかった。



機体概要 Description of MOBILE SUIT

フェネクスは、ユニコーンガンダムの1号機、2号機のデータに基づいて開発されたユニコーンガンダムの3号機である。開発にはビスト財団が関与しておらず、フル・サイコフレームの素体入手していた地球連邦軍の幹部によって独自に製造が行われた。金色のカラーリングが特徴で、デストロイモードではアームド・アーマーDEが展開し、青色にサイコフレームが発光する。パイロットはリタ・ベルナルが務めていたとされる。

報告3-A

RX-0

ユニコーンガンダム

3号機

フェネクス

RX-0 Unicorn Gundam 03 Phenex

DATA

頭頂高	19.7m(ユニコーンモード) 21.7m(デストロイモード)
本体重量	23.8t
全備重量	52.4t
ジェネレーター出力	3,890kW(ユニコーンモード ²)
スラスター総推力	206,770kg(ユニコーンモード)
武装	60mmバルカン砲、ビーム・サーベル(ビーム・トンファー)、メガ・キャノン、アームド・アーマーDE



ユニコーンガンダム1号機、2号機が封印された今、3号機のフェネクスを確保するのは、AE社、連邦軍にとっても最重要課題となっている。写真は、フェネクスを宇宙空間で捉えた映像である。

報告3-B

MSN-06S-2

シナンジュ・スタイン

MSN-06S-2 Sinanju Stein

機体概要

Description of
MOBILE SUIT

アナハイム・エレクトロニクス社が、『UC計画』及びユニコーンガンダム開発の前段階として開発した試作機(開発コード:スタイン01 ※1)である。サイコフレーム実装機であり、ユニコーンガンダムに搭載されたインテンション・オートマチック・システムも導入されている。だが、あくまで評価試験用であり、実戦への投入は想定していなかった。U.C.0094、スタイン01のユニット2ケースは、連邦軍所属のクラブ級「ウンカイ」に搭載されていたが、『袖付き』に強奪された(※2)。その後、1ユニットがフル・フロンタルの乗機として赤いカラーリングが施された「シナンジュ」へと改修。『ラプラス事変』時にその性能をいかになく発揮している。シナンジュ・スタインは残る1ユニットが運用されたもの。

※1 スタイン01の機体は複数機存在する。

※2 この強奪行為はAE社、地球連邦軍も「承認済み」であったとの情報もある。

DATA (シナンジュ・スタイン)

頭頂高	22.6m
本体重量	23.1t
全備重量	54.2t
ジェネレーター出力	3,240kW
スラスター総推力	128,600kg
武装	60mmバルカン砲、ハイ・ビーム・ライフル、ビーム・サーベル、シールド、グレネード・ランチャー



パイロット

Pilot

Zoltan Akkanen

ゾルタン・アッカネン

フェネクス捕獲を目論むジオン共和国軍の大尉。シナンジュ・スタインのパイロットである。

報告3-B

MSK-008

ディージェ

MSK-008 Dijeh

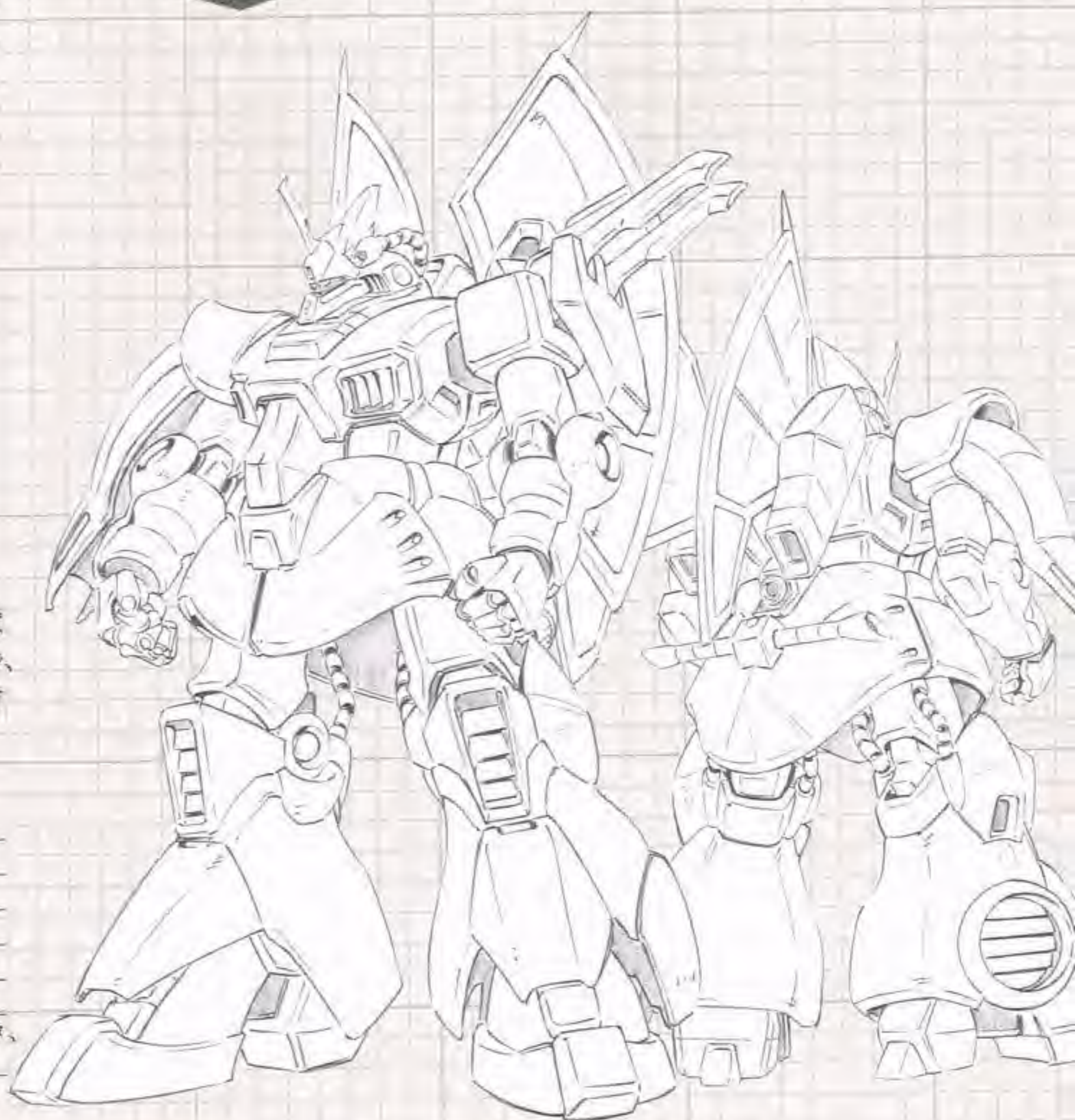
機体概要

Description of
MOBILE SUIT

U.C.0087のグリプス戦役時に投入された、カラバ製の試作モビルスーツ。ベースとなっているのはリック・ディアスで、陸戦用として開発が進められた。ルオ商会も機体を所有しており、特殊作戦などでの運用を想定している。

DATA

頭頂高	23.0m
本体重量	33.9t
全備重量	51.8t
ジェネレーター出力	1,892kW
スラスター総推力	74,000kg
武装	60mmバルカン砲、ビーム・ナギナタ、ビーム・ライフル



報告3-B

ナラティブガンダム

機体概要

Description of
MOBILE SUIT

ユニコーンガンダム3号機のフェネクスの鹵獲作戦、通称『不死鳥狩り』作戦の主力機として、ルオ商会が戦場を送り込んだモビルスーツ。多目的試験用MSにカテゴライズされるAE社製MSで、試験機として開発されたもの。本体の武装は頭部のバルカン砲のみであるが、高い拡張性を有しており、複数の武装ユニットを換装することができ、大型兵装を搭載したA装備がそのひとつとして存在する。



DATA

頭頂高	21.0m
本体重量	25.1t
全備重量	40.2t
ジェネレーター出力	2,980kW
スラスター総推力	104,000kg
武装	60mmバルカン砲

パイロット

Pilot

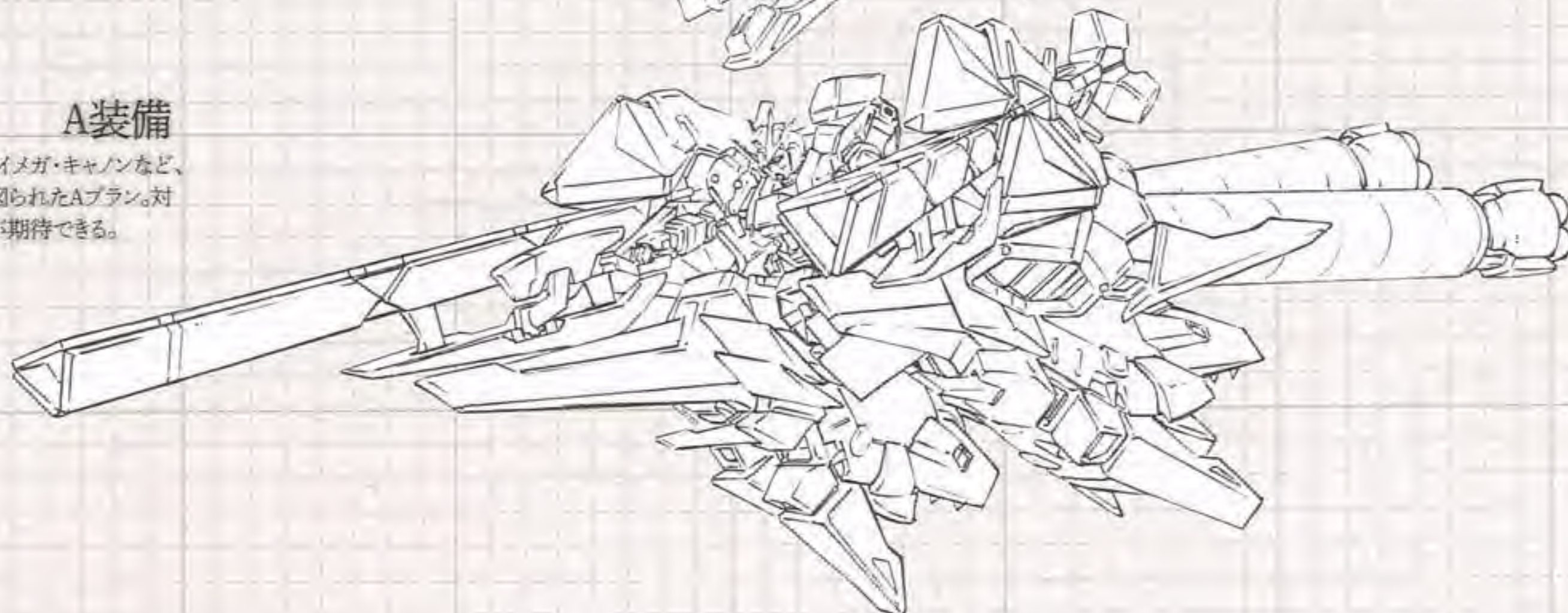
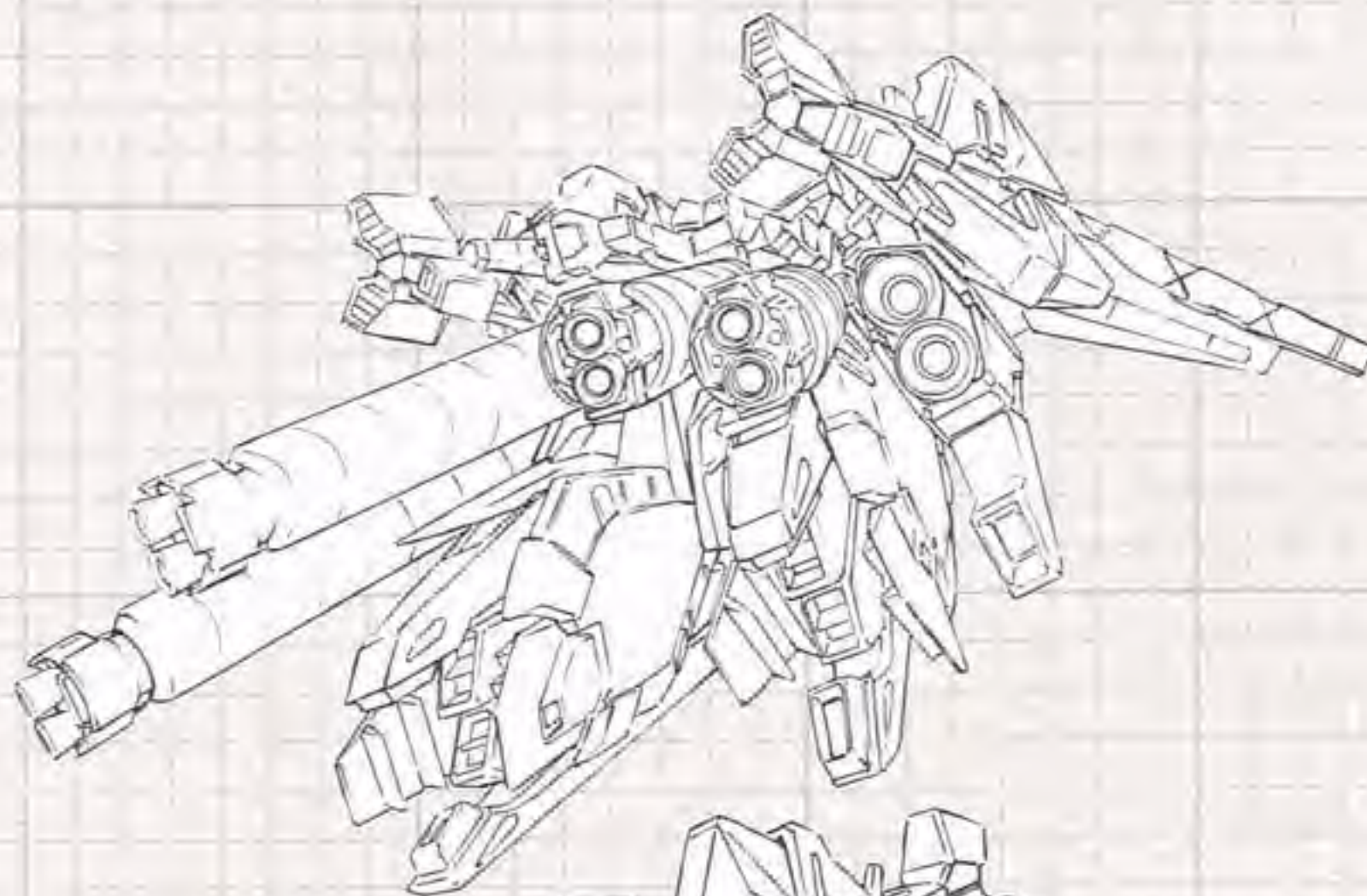
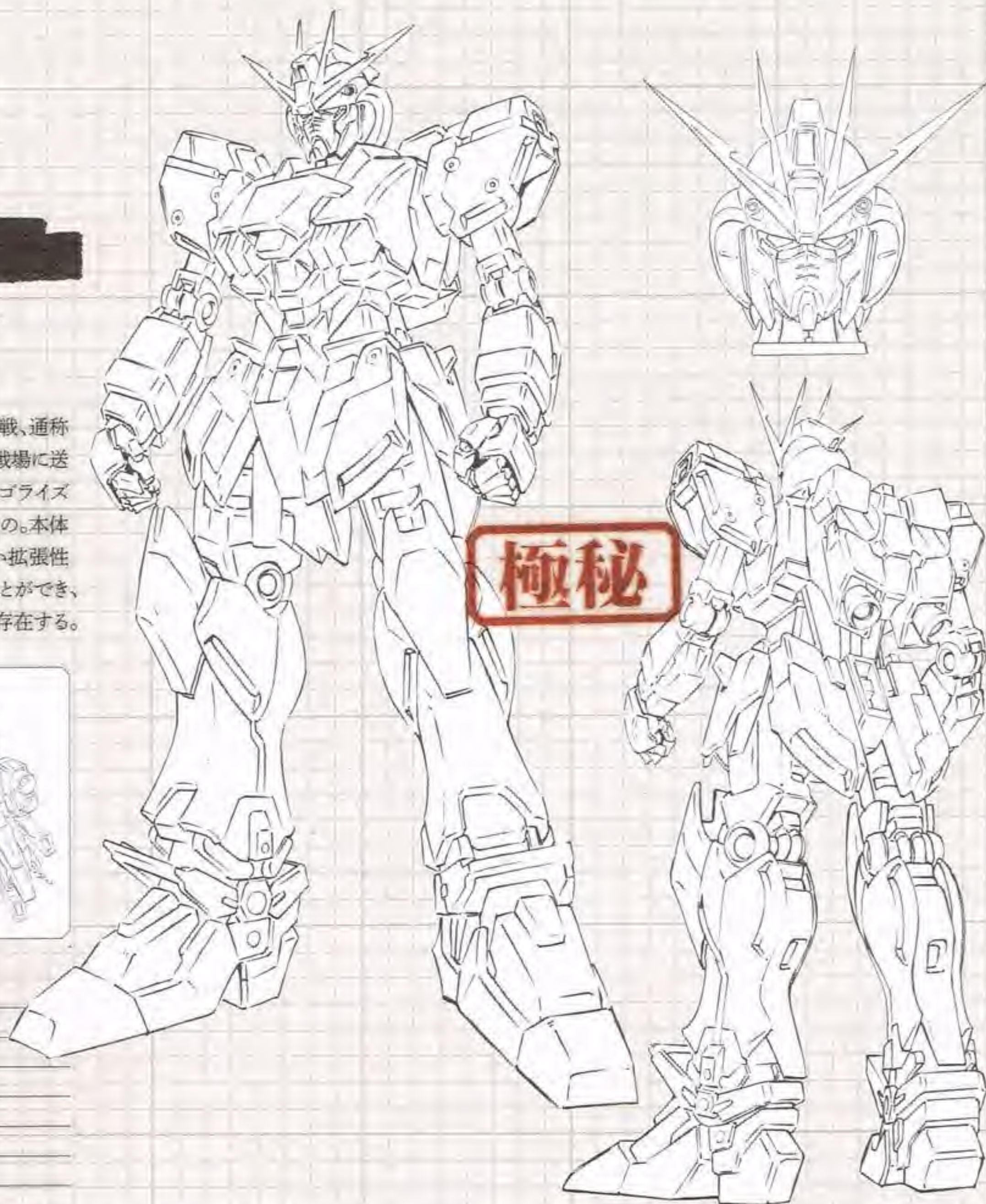
Jona Basta

ヨナ・バシュタ

『不死鳥狩り』作戦においては、地球連邦宇宙軍に所属するヨナ・バシュタ(少尉)をパイロットとする。シェザール隊に協力し、フェネクス鹵獲の急先鋒として期待されている。

A装備

大型ビーム・サーベルやハイメガ・キャノンなど、火器の充実と推力増強が図られたAプラン。対フェネクス戦において戦果が期待できる。



01

各勢力の状況

ビスト財団

THE VIST FOUNDATION

組織概要 Organization

サイアム・ビストによって設立された財団法人で、表向きは地球に現存する古美術品の管理とスペースコロニーへの輸送を担う組織として知られている。だが、彼らは宇宙世紀を揺るがすとされていた『ラプラスの箱』——宇宙環境に適した新人類を発見したとき、参政権を与えることが記された宇宙世紀憲章——を保有しており、その威光を用いて権力を維持していた。AE社、地球連邦政府とも強いパイプ(※1)を築き上げ、財団の地位を確実なものとしていた。U.C.0096時点での当主はサイアムの孫であるカーディアスが、AE社にはカーディアスの妹であるマーサ・ビスト・カーバインが幹部として在籍しており、ビスト家の血脈は宇宙世紀において大きな存在感を放っていた。

※1 サイアムはAE社幹部の娘と婚姻を結び、財団設立の後ろ盾とした。さらに、連邦の天下り組織としても機能していたのは明らかだ。

DATA

創立者	サイアム・ビスト
設立年	U.C.00??
当主(U.C.0096)	カーディアス・ビスト
組織目的	美術品の保護・輸送



サイアム・ビスト

『ラプラス事変』とその後の組織状況 Status

U.C.0096、宇宙世紀100年を前にして、当主カーディアスがサイアムと共に『箱』の開放を企図する。これはAE社や連邦政府にも預かり知らぬところで進行しており、カーディアスはネオ・ジオン残党軍『袖付き』にも接触した(結果、『袖付き』への『箱』の譲渡は取りやめた)。カーディアスは連邦軍と『袖付き』の衝突に巻き込まれ死亡するが(※1)、『箱』の鍵であるユニコーンガンダム1号機を息子(※2)であるバナー・リンクスに託す。彼とザビ家の末裔、ミネバ・ラオ・ザビによって、『箱』の正体は全世界に明かされた。それは『箱』の威光を駆使してきたビスト財団としての終焉も意味しており、『ラプラス事変』後は財団としては沈黙している。

※1 カーディアスの死後は、AE社のマーサが当主代行を務めている。

※2 バナー・リンクスはカーディアスの息子であるが、正妻ではなく愛人の子である。



サイアム・ビスト

Syam Vist



カーディアス・ビスト

Cardia Vist

『ラプラス事変』の現場で『箱』を秘密裏に確保し、ビスト財団を設立した人物。『ラプラス事変』時には『箱』の開放を決意、バナーやミネバら若い力に未来を託し、ミネバの『ラプラス宣言』を後押ししている。

宇宙世紀の停滞を危惧し、『箱』の開放を望んだビスト財団の当主。ユニコーンガンダムにラプラス・プログラムを搭載するなど、その準備を進めていた。AE社のマーサとは兄妹であるが、『箱』を巡っては対立していた。



カーディアスは、『箱』の譲渡を目指し『袖付き』のガンシエル隊長、スベロア・ジンネマンと協議を行った。この行為がAE社や連邦軍の反発を呼び、戦乱につながっていく。

02 袖付き

各勢力の状況

NEO ZEON (THE SLEEVES)

組織概要 Organization

U.C.0093、第二次ネオ・ジオン戦争の結果として崩壊状態であったネオ・ジオンの一部勢力のうち、ザビ家の末裔であるミネバ・ラオ・ザビを指導者としてまとまった残党勢力。組織としてまとまる上で、「シャアの再来」と呼ばれるフル・フロンタルが力を発揮し、組織内での高い発言力を有していた。その規模はネオ・ジオン軍ほどではなく、連邦政府からはテロリスト同様の扱いを受けていたが、スタイン01の強奪など、着実に戦力を整えていた。拠点としていたのは鉱物資源衛星「バラオ」であり、軍人の家族や一般住民もそこで生活していた。また、地球で暮らすジオン残党軍とも連携し、支援していたようだ。

DATA

指導者	ミネバ・ラオ・ザビ
設立年	U.C.0093～
首魁	フル・フロンタル
組織目的	ザビ家の再興／サイド共栄圏の設立



◆ミネバ・ラオ・ザビ

『ラプラス事変』と その後の組織状況 Status

U.C.0096、『袖付き』はビスト財団から『箱』の譲渡・開放を巡る交渉を持ちかけられ、ガランシェール隊がその交渉を行った。しかし、交渉は不成立に終わり、さらに連邦軍の襲撃を受けたことで、戦端が開かれた。以降、フロンタルは、宇宙世紀を揺るがすとされる『箱』の奪取と、その威光を用いたサイド共栄圏(※)の構築のために戦闘継続を選択。一方で、指導者であったミネバはフロンタルに『箱』がわたることを危惧し、ネル・アーガンや連邦政府とも接触するなど、独自の行動を取った。フロンタルへと『箱』が渡るのを阻止したミネバは、これからの宇宙世紀の平穏を願って『箱』の開放を決意し、自らその正体を全世界に発表した。だが、その後は再び表舞台から姿を消している。

※長年の地球依存を脱却するべく、ジオン共和国を中心に、コロニー群だけで経済圏を形成しようとする構想。フロンタルは『箱』をその交渉の材料にしようとしていた。



『ラプラス事変』では、『袖付き』の拠点であるバラオに対し、エコーズが襲撃を仕掛けたことも。連邦軍という巨大勢力の前には、その規模はあまりに脆弱であった。



フル・フロンタル
Full Frontal

シャアの再来と呼ばれたモビルスーツパイロット。その正体に関しては強化人間、またシャアのクローンなど様々な説がある。多くの権限を与えられており、何者かが裏で彼を操っていたとの情報もある。



ミネバ・ラオ・ザビ
Mineva Lao Zabi

ジオン公国を支えたザビ家の末裔であり、『袖付き』などネオ・ジオン残党軍やジオン残党にとっての精神的支柱。ミネバ自身は戦争という手段を拒否する穏健派であり、その手段として『箱』の公開に踏み切ったようだ。



03

各勢力の状況

地球連邦政府

EARTH FEDERATION GOVERNMENT

DATA

設立年	西暦末期
初代首相	リカルド・マーセナス(地球連邦)
首都	ダカール(U.C.0096)
保有戦力	地球連邦軍(地球連邦宇宙軍を含む)



▲リカルド・マーセナス



組織概要 Organization

地球全土及びスペースコロニー群まで勢力下に置く巨大組織。巨大なだけに内部での権力闘争も激しく、また、独立を訴えるジオン公国との戦争を皮切りに、断続的に大規模な戦争を経験。木星船団、アクシズも参戦したグリプス戦役(U.C.0087)では、保有する軍隊＝地球連邦軍自体もティターンズとエゥーゴに分裂して内紛状態となるなど、決して一枚岩ではない。その後も、二度にわたるネオ・ジオンとの戦争で大きなダメージを負ったが、それでも宇宙世紀100年を前にして、未だ世界の主導権を掌握し続けている。



U.C.0001、首相官邸「ラプラス」が爆破された「ラプラス事件」では、リカルドを含む連邦政府の首脳陣の多くが死亡した。

『ラプラス事変』とその後の組織状況 Status

U.C.0096の『ラプラス事変』では、『箱』の正体を知るローナン・マーセナス(連邦政府中央議会議員)やAE社のマーサと共に、『箱』の開放によるスペースノイドの増長や既得権益の減少を避けるべく、『箱』の確保及び破壊に動いた。一方で、連邦軍は同じく『箱』を狙う『袖付き』に対抗するため、特殊部隊「エコース」やネル・アーガマを投入した。『箱』開放後のU.C.0097、ユニコーンガンダム3号機のフェネクスの鹵獲を目指す『不死鳥狩り』作戦を実行する。

ローナン・マーセナス
Ronan Marcenias

『箱』の秘密を知る連邦政府の重鎮。『箱』の存在を隠匿したいAE社と結託していた。息子であるリディ・マーセナスが連れてきたミネバ・ラオ・ザビを引き渡すようにマーサに要求され、結果的に彼女の手元に渡った。

リディ・マーセナス
Riddhe Marcenias

ローナンの息子で、ロンド・ベルに所属していたモビルスーツパイロット。『箱』を巡る戦いの中で、マーセナス家も『箱』に深く関与していたことを知る。最終決戦では、バナーズに協力した。



『ラプラス事変』時には、ジオン残党軍と『袖付き』の襲撃を受け、ダカールやトリントン基地に大きなダメージを負った。

アナハイム・エレクトロニクス社

Anaheim Electronics

DATA

会長 (U.C.0087)	メラニー・ヒュー・カーバイン
社長 (U.C.0087)	コウエル・J・ガバナン
社長夫人 (U.C.0096)	マーサ・ビスト・カーバイン
拠点	アナハイム / フォン・ブラウン



メラニー・ヒュー・カーバイン▲

組織概要 Organization

“スプーンから宇宙戦艦まで”をキャッチフレーズとする軍産複合企業。U.C.0087当時の会長はメラニー・ヒュー・カーバインで、企業としてはアナハイムや月面都市フォン・ブラウンを拠点としている。MSの開発や連邦軍への技術供与なども行っており、エゥーゴに協力していたグリプス戦役 (U.C.0087) 以降、その影響力は増大している。また、ビスト財団とはサイアムが当主を務めていた時代から関わりが深く、社長夫人マーサはビスト家の人間である。

『ラプラス事変』とその後の組織状況 Status

ジオニズム掃討を本質とする『UC計画』では、ユニコーンガンダム1号機、ユニコーンガンダム2号機のバンシィをロールアウト。また、スタイン01を、『袖付き』にわざと譲渡した疑いもある。U.C.0096、AE社としては、連邦軍と共に既得権益を守るべく『箱』の隠匿に動くが、その開放を止めることはできなかった。U.C.0097、ユニコーンガンダム3号機のフェネクスの鹵獲を目指す『不死鳥狩り』作戦では、AE社製のナラティブガンダムが運用されている。



ユニコーンガンダム3号機鹵獲作戦『不死鳥狩り』について

作戦概要

U.C.0097、連邦宇宙軍のシェザール隊に任された『不死鳥狩り』は、テスト中に暴走し、行方不明になったユニコーンガンダム3号機のフェネクスを鹵獲する作戦である。『ラプラス宣言』以降、フェネクスは目撃情報が相次いでおり、ルオ商会は、連邦軍のクラブ級宇宙巡洋艦タマスカスに協力する形で、フェネクス鹵獲を狙っている。さらに増援部隊として、ヨナ・バシュタがパイロットを務めるナラティブガンダムを投入した。

主導者

『不死鳥狩り』については、ルオ商会の事実上のトップであるステファニー・ルオが懸念を示す一方で、特別顧問を務めるミシェル・ルオが、作戦への支援を強硬に推進している。それは、フェネクスのテストパイロットを務め、試験中に暴走したことで消息不明となっているリタ・ベルナルが、ミシェルの幼馴染であることと無関係とは言えない。



ヨナ・バシュタ

Yona Basta

ナラティブガンダムと共にシェザール隊に合流した地球連邦軍の少尉。フェネクスに搭乗していたリタ・ベルナル、そして作戦を主導するミシェル・ルオとは幼馴染である。



ミシェル・ルオ

Michel Luio

略盗法で世界や政治の行く末を示し、ルオ商会設立者ルオ・ウーミンから寵愛されている。また、ルオの人脈から彼女の存在は財界にも広がっており、絶大な信頼を得ている。



ミネバ・ラオ・ザビ



Profile

年齢	17歳(U.C.0079生まれ)
性別	女性
所属	ネオ・ジオン残党軍『袖付き』
役職	指導者

『ラプラス事変』とその後の動向

『袖付き』の指導者。U.C.0096の『ラプラス事変』では、オードリー・バーンという偽名を使って活動し、『ラプラスの箱』の開放による戦乱のリスクを見極めようとした。最終的に『箱』の開放を決断し、ミネバの立場で正体を全世界に向けて明らかにしている(『ラプラス宣言』)。その後、ミネバはユニコーンガンダム1号機とユニコーンガンダム2号機 バンシィについて、その人智を超えた能力を危険視し、地球連邦軍と共同で封印することを決断(※)。『ラプラス宣言』のあと、ミネバは姿を隠している。

※機体そのものだけでなく、サイコフレーム研究も含めて封印した協定のようなのだ。

懸念事項

争いを否定する立場の人物であるが、『ラプラス宣言』によって、スペースコロニー群には独立の機運が高まっている。ザビ家の末裔である彼女のカリスマ性は未だ衰えることなく、その行動如何では世界に大きな混乱をもたらすと推測される。

また、ユニコーンガンダムの性能を危険視する立場から、テスト時に暴走し、行方不明となったユニコーンガンダム3号機 フェネクスの情報も当然掴んでいるだろう。それはルオ商会が介入する『不死鳥狩り』作戦にとっても重大な障害になりかねない。

報告者: [REDACTED]

危険
分子

02



ブライト・ノア



Profile

年齢	36歳(U.C.0060生まれ)
性別	男性
所属	地球連邦軍外郭新興部隊『ロンド・ベル』
役職	司令

『ラプラス事変』とその後の動向

地球連邦軍の外郭新興部隊『ロンド・ベル』の司令であり、一年戦争では伝説的部隊『ホワイトベース隊』で艦長を務めた経歴を持つ。『ラプラス事変』では、ブライトを危険視するビスト財団(※1)や連邦軍の意向もあり、当初は介入していなかった(※2)。だが、ローナン・マーセナスの指示で争乱に介入。独自の情報網(※3)を駆使してトリントン基地襲撃を察知したほか、ユニコーンガンダム1号機とバナージ・リンクスに『箱』の対応を託した。さらに、指揮下のネル・アーガマを密かに協力させている。

※1 ビスト財団は当時マーサが当主代行を務めており、『箱』の保持による権力増大を目指していた。

※2 ビスト財団は数々のニュータイプを見出してきたブライトの力を危険視していた。

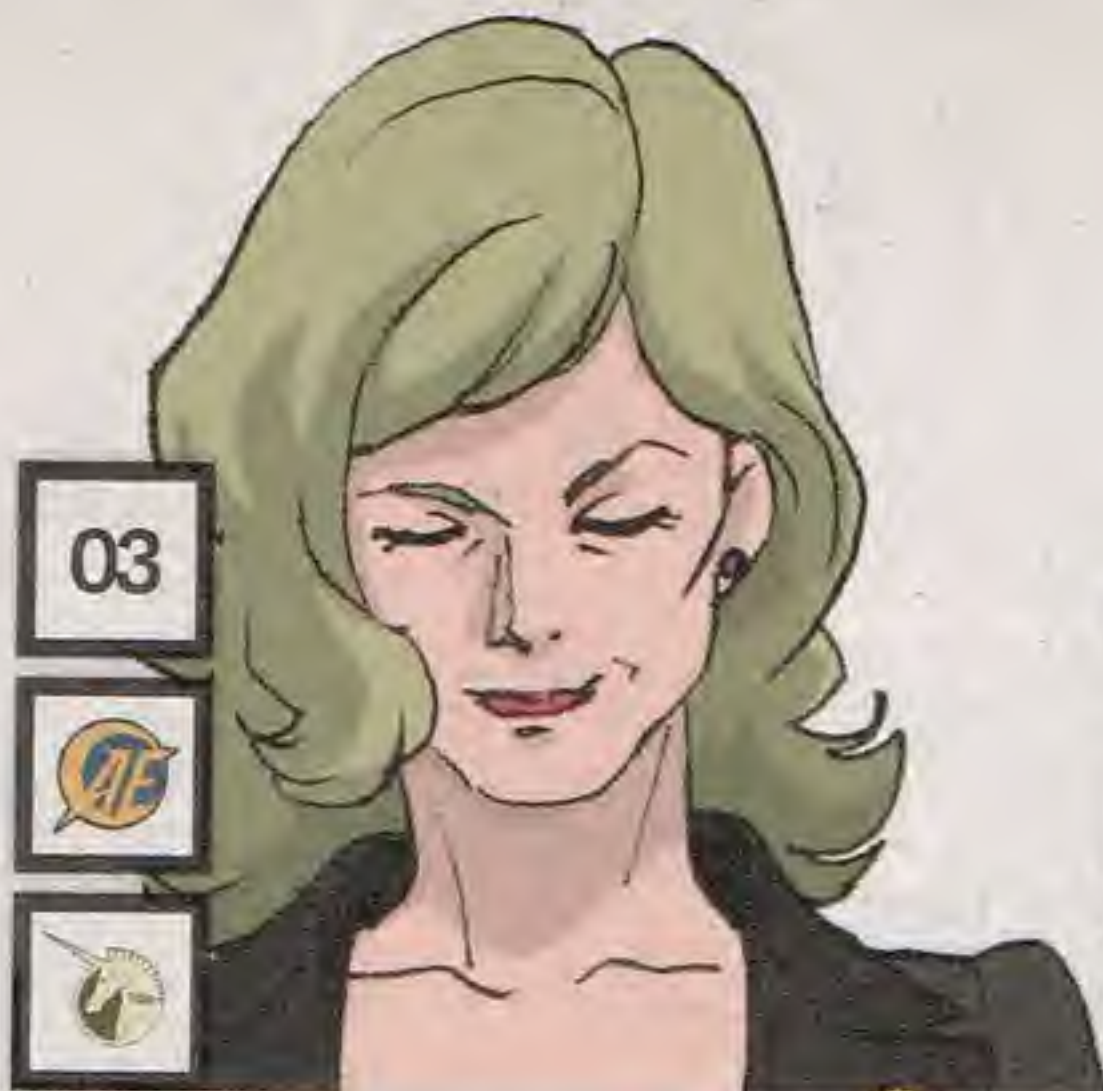
※3 ルオ商会とはグリプス戦役以来つながりがあり、トリントン基地襲撃の情報もこうしたネットワークから入手した。

懸念事項

アムロ・レイ、カミーユ・ビダン、ジドー・アーシタ、『ラプラス事変』においてはバナージ・リンクスなど、ブライトは“ニュータイプ”と称されるような若いパイロットの力を予見する能力に秀でていると言って良い。ときに彼は軍規を破ってまで彼らに加担するため、マーサもそうした部分を危険視していた面がある。ルオ商会とはベルトーチカ・イルマやカイ・シテンを通じてエゥーゴ時代から関わりが深く、友好的な関係を築いている。だが、距離感は適度に保っておくべきだと考える。

報告者: [REDACTED]

03



マーサの 処遇について

マーサ・ビスト・カーバイン

マーサは『ラプラス事変』を拡大した責任を問われ、連邦政府によって幽閉状態にある。だが、その自信に満ちた態度は変わらず、堂々としたものであった。ユニコーンガンダム2号機 バンシィと、ユニコーンガンダム3号機 フェネクスのテストにAE社側として立ち会っていたひとりであり、今後の『不死鳥狩り』を進めるにあたっては、彼女の協力・情報提供は欠かせない。AE社、ビスト財団、連邦軍もマーサとは距離を置いている状況であり、ルオ商会として（情報提供の代わりに）彼女の名誉を回復するように仕向けるのもひとつの手段ではあろう。一方で、マーサは、血縁者であるAE社幹部、アルベルト・ビストの処遇を気にしていた。血縁者としての情はあるものの、アルベルトの能力は信用していないようで、ひとりではAE社内での立場を保つことは厳しいとの見通しを示していた。

追記

04

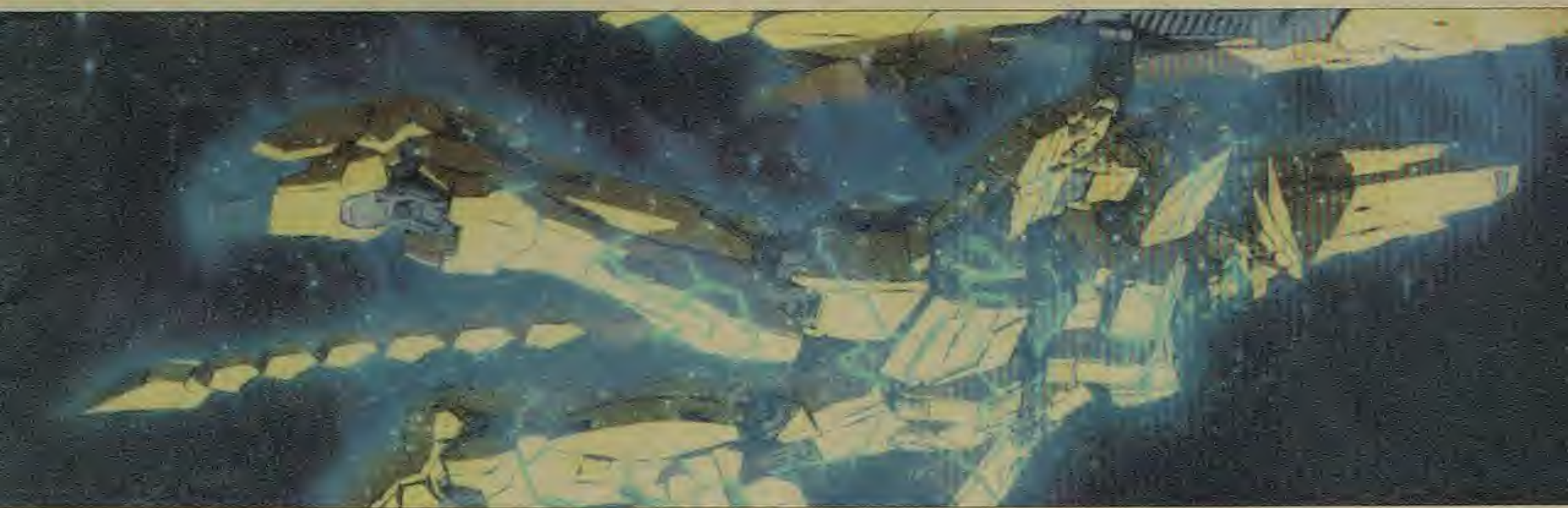


アルベルト・ ビスト

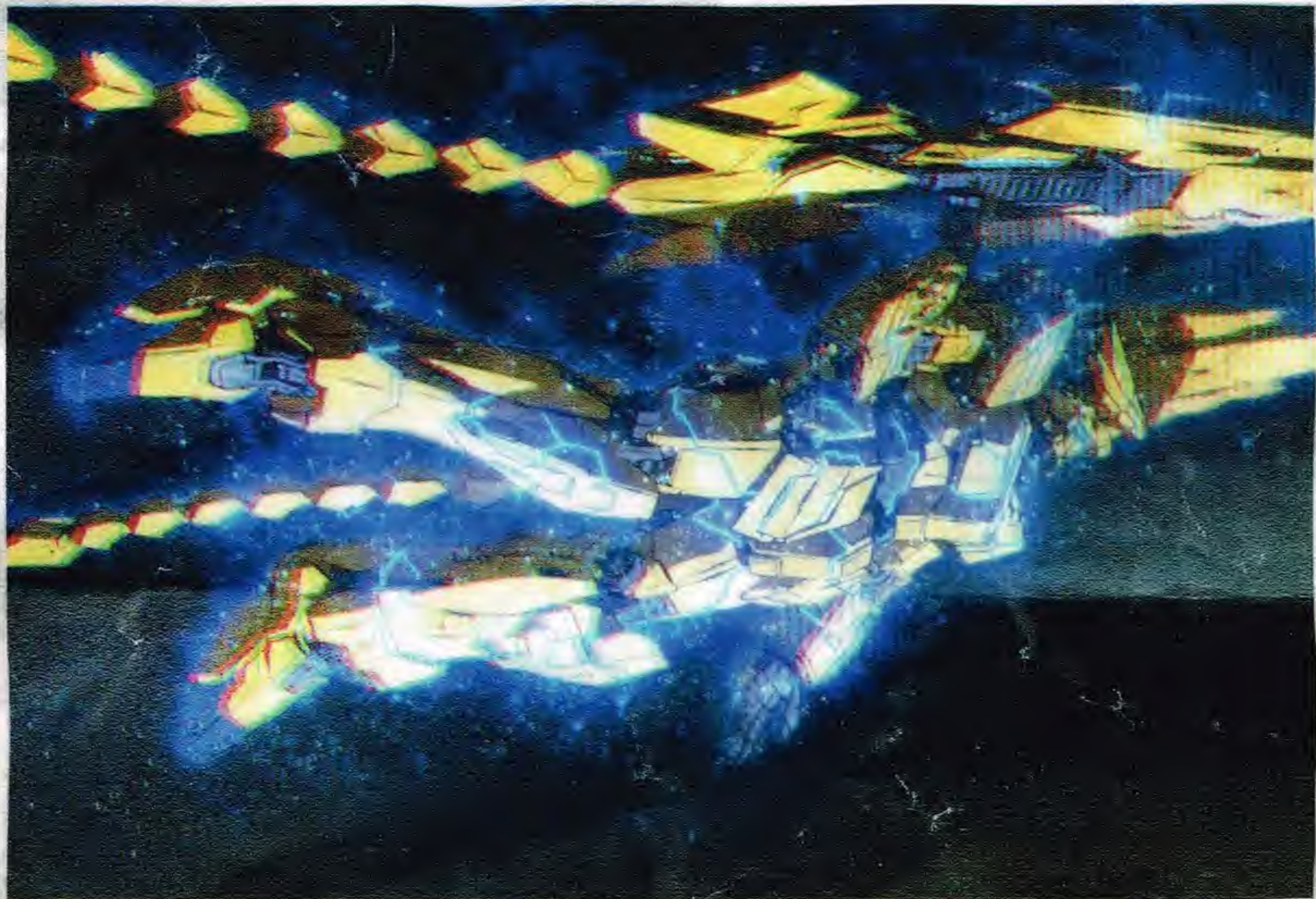
AE社の幹部で、現在34歳（U.C.0097時点）。ビスト財団前当主カーティアスの息子（※1）であり、マーサから見て甥にあたる。以前からマーサの手駒として利用されていた。『ラプラス事変』ではAE社の責任者としてネル・アーガマに派遣されたが、艦長オットー・ミタスらクルーからは煙たがられていたようだ。争乱中には、強化人間であったマリーダ・クルスに命を助けられたことから彼女に想いを寄せるようになったとの情報もある。ミネバの『ラプラス宣言』を聞くと、マーサに対して諭すような口調で「もうよしませう叔母さん、『箱』の魔力は失われたのです」と告げ、一からの再起を促した。※1. バナージ・リンクスとは異母兄弟の関係にある。



報告者: XXXXXXXXXX



編集＝松竹 企画・編集＝サンライズ 構成・ライティング＝MEGALOMANIA デザイン＝rocka-graphics 印刷＝久栄社
と創造・サンライズ



MODEL NUMBER

HEAD HEIGHT

19.7m (UNICORN MODE) /
21.7m (DESTROY MODE)

WEIGHT

23.8t

OVERALL WEIGHT

52.4t

GENERATOR OUTPUT

3.890kW (UNICORN MODE)

TOTAL THRUSTER OUTPUT

206,770kg (UNICORN MODE)